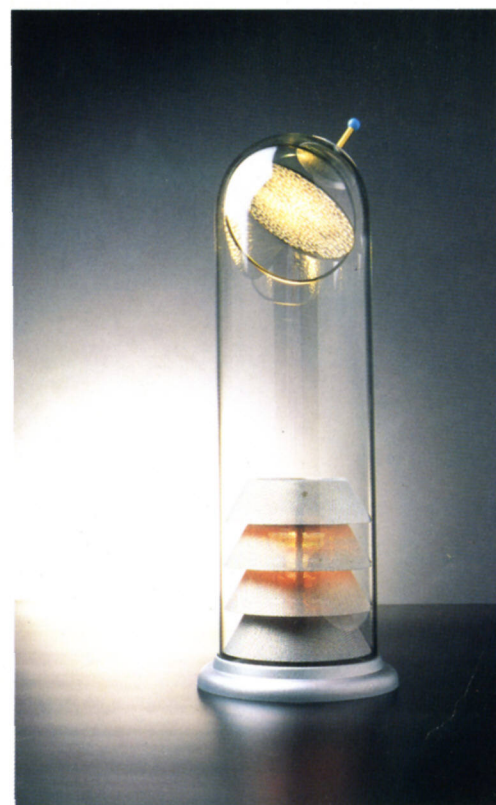
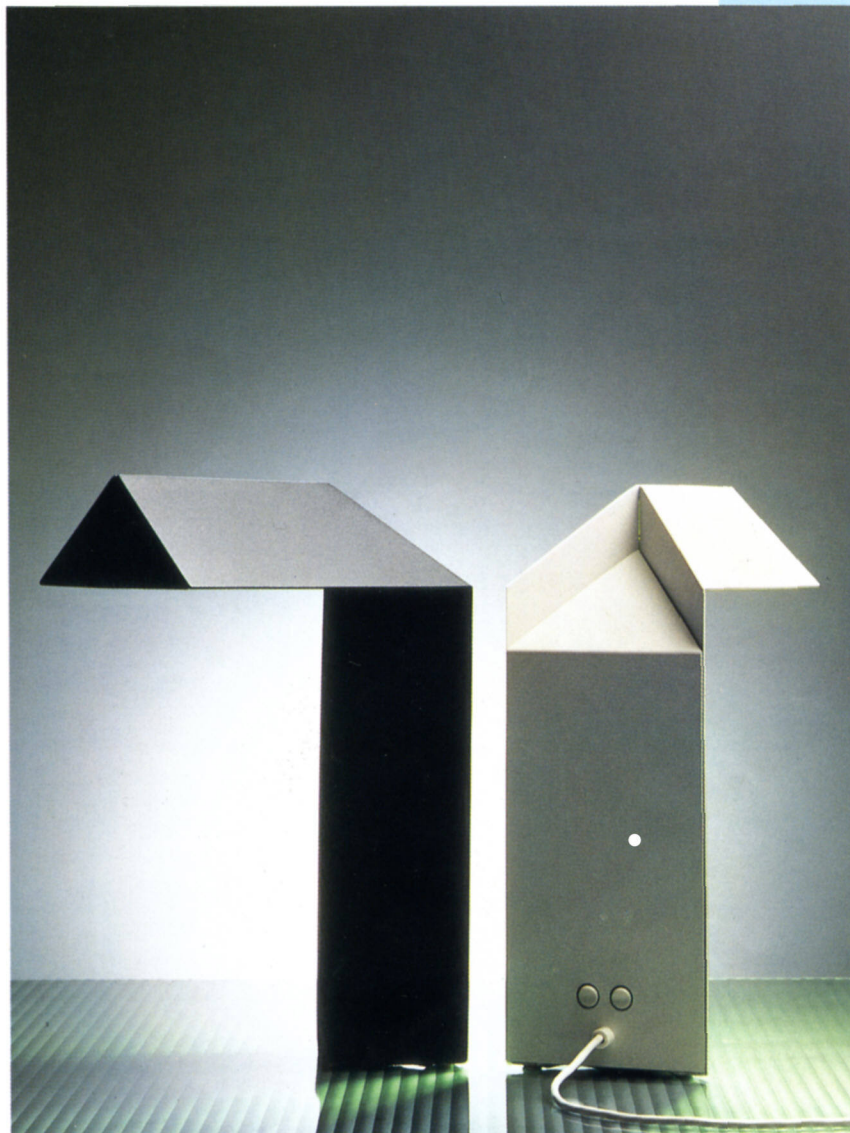


▲ アクシス・ライティング・リミテッド社の「シェルフ・ライティング・システム」。電線もトラックもヒューズもないためショーケースを引き立てる。どこでも取り付け可能が魅力。

照明スタンド「フォールド」▶

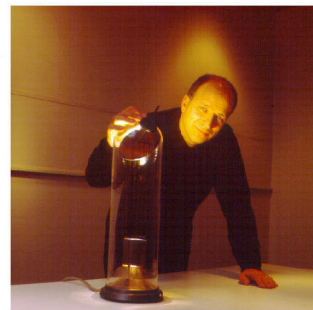


▲ 「ブリティッシュ・インダストリアル・デザイン・コンペティション in JAPAN」でグランプリを受賞した「パーリントン・デスクライト」



▲ 波型のラインが美しいスタンド「フラッグ」

DAVID MORGAN



DAVID MORGAN

1951年、ロンドン生まれ。照明デザイナー。RCAで工業デザインを学んだ後、1976年に「ソーン・ライティング」のデザイナーを務める。81年にデイヴィッド・モーガン・アソシエイツを設立し、83年にはフィリップス・ライティング・プライズを受賞。近年では88年に「ブリティッシュ・インダストリアル・デザイン・コンペティション in JAPAN」でグランプリを受賞している。



▲ 照明スタンド「ウェイブ」

最新技術を駆使した照明デザインを追求する

デイヴィッド・モーガン

デイヴィッド・モーガン・アソシエイツは、デザイン、エンジニアリング、モデルメイキング、アドミニストレーションなどを手掛けるプロダクトデザインのコンサルタント会社である。中でも代表のモーガン氏は照明器具の開発に熱意を傾けており、1987年「ブリティッシュ・インダストリアル・デザイン・コンペティション in JAPAN」ではデスクライトでグランプリを獲得、国内外での高い評価を得た。

全体の約4割はライティングビジネスが占めるというモーガン氏は、ライティングシステムを手掛けるアクシス・ライティング・リミテッドのクリエイティブディレクターでもある。アクシスとはもともとモーガン氏が顧客として利用していたメーカーをベースに設立したもので、工場自体は50年前から移動している。対象を現代建築とインテリアデザインに絞り込んだ照明器具のデザイン会社だ。氏は建築に対する照明の役割を常に追求しており、自身の照明デザイナーとしての使命を次のように語っている。「建築と照明の関係は極めて密接な関係にある。自然光が日中の照明の主要源だった頃、建物の形態は窓や屋根の採光によって決定した。だが、人工照明の発明は建築の新たな形と構想を生み出したのである。

David Morgan Associates is an industrial product design consultancy involved in design, engineering, model-making and administration. Managing director David Morgan is especially devoted to the development of lighting equipment, and about 30 percent of his projects fall within this area. He attracted world-wide attention when his desk light won first prize in the lighting category of the 1987 "British Design in Japan" competition. Morgan is also the creative director of Axis Lighting Ltd., a lighting company committed to developing lighting equipment specifically targeted at contemporary architecture and interior design.

Morgan feels that his main task as a lighting designer is to understand the ideas and aims of

私の照明デザイナーとしての使命は、建物の発想と目的を理解し、照明によって建物の価値をより増大させ、建物のもつ概念をもっとも効果的に引き出すことである」。

現在は、英国鉄道の新しい標識システム、ロンドンの地下道用の照明技術、キッチンの電化製品などを中心にデザイン活動を行っている。また、それらに伴うモーガン氏のデザインポリシーとは「個々のクライアントの企業文化を把握し、そのコーポレートアイデンティティを発展させる新製品を作る」こと。そのためにはクライアントとのミーティングを長期的に重ね、おたがいの信頼関係をより強力にする必要がある。「デザイナーが成功する方法はさまざまである。しかし私の結論は、デザイナーとはテクノロジーの発達に非常に敏感であり、企業にとっての未来のアンテナになりうるということだ。また、デザイナーとはマーケティング、生産から技術に至るまでの独立した意見を持つべきなのである」。

今後は海外の企業や国際的な建築家とのプロジェクトにも参加を望んでおり、よりグローバルな活動をしたいということだ。

(編集協力/株式会社レイデン商會)

architects so that his lighting can enhance the building and bring out the concepts in the most effective way.

Some of Morgan's current works include a new signage system for British Rail, new lighting techniques for the London Underground system and a variety of electrical kitchen appliances. His guiding design policy is to seek to identify each client's underlying corporate culture and then to design new products that will advance and project that corporate identity. Morgan believes this is only possible by fostering trust through long-term relationships with his clients. he hope to globalize his activities in the near future, working with overseas manufacturers and in international architecture.



▶ ACORN COMPUTERS社の製品
「コミュニケーション・ターミナル」